



後期のSAT活動が始まりました!

大学の後期授業の始まりとともに、後期のSAT活動も始まりました。

約2ヶ月半ぶりに再会した児童・生徒は、どんな様子でしたか? 5月に会った頃と比べてみるならば、きっと心身共に成長していたのではないのでしょうか。(これからSAT活動に行く皆さんは、子ども達の成長の変化にも注目して観察をしてみてください。)

SAT活動の良さの一つとして、長期間、児童・生徒に寄り添えるので、成長していく姿を間近で見ることができる点が挙げられています。後期のSAT活動では、より内面の成長を感じることができるものと思いますので、是非、それも楽しみにして活動に参加をしてください。

さて、後期のSAT活動ですが、活動校や活動の曜日によって多少の違いはありますが、12月20日前後までの実施となります。残り10回ほどのSAT活動ですので、学校現場で学べるこの貴重な活動を通して、今まで以上に児童・生徒との関わりを大切にしながら多様な子ども達に対する理解を深め、現実の教室場面での学習支援や生活支援の体験から学校現場や教員に対する理解を深めていってほしいと思います。

SAT活動では時に悩むことや迷ったりすることもあると思いますが、それらは皆さんが真摯に活動に取り組んでいる証であり、それこそが皆さん自身が教員に向けて成長する糧にもなりうるものです。

学校現場の先生方もアドバイスをしてくださると思いますし、3年次生の「教育フィールド研究Ⅲ」では、引き続き学内で「教職講座」を開催し、講師の方や仲間とともに振り返りも行っており、より良い指導の在り方を考えていきます。また、4年次生の「教職実践演習(学外型)」の校内授業でも、活動校別の振り返りを行って課題改善について考えていきます。

SAT活動を通して、教員へ向けての実践的な力を育成していけるよう、大学も支援をしていきますので、学生の皆さんは健康に留意して、後期も学外SAT活動と校内授業の往還を通して、多くを学んでください。



<<前期SAT巡回指導より>>

6月中旬から7月上旬にかけて、教職支援センターでは、全てのSAT活動校へ巡回指導に行ってきました。どの活動校でも「SATの学生さんは真面目で、児童・生徒に対する支援をととても頑張ってくれているので、感謝している」との嬉しいお言葉をいただきました。

ここでは活動校の先生方より伺ってきた中の一部ですが、成果と言える良い関わりの姿や、今後更に良い支援をするためのアドバイス、そして、注意すべき行動等を記します。より良いSAT活動のための参考にしてください。

○良い関わりの姿

- ・挨拶がしっかりできて、礼儀正しい態度で接する。
- ・児童・生徒に丁寧に接して、熱心に指導している。
- ・子どもの目線に合わせて、しゃがんで指導している。
- ・学級全体を見て、自ら進んで気になる子の近くに行き支援をする。
- ・体育の授業時などは、準備や片付けも積極的に手伝ってくれる。
- ・気づいたこと等を、忘れないようにメモしている。
- ・休み時間には、子どもとコミュニケーションをとり、積極的に遊んでくれる。



○より良い支援に向けてのアドバイス

- ・「声掛けが苦手」と言って関わることに躊躇しているが、児童・生徒の多くは関わってほしいと思っているので、遠慮せずに声掛けをしてほしい。

○注意すべき行動等

- ・授業中に先生が話をしている時には、児童・生徒との会話は一旦止める。
- ・膝に乗せる・身体に触れる等、接触の距離感には十分注意する。
(「やめよう」と言えない・言いにくい場合は、現場の先生に伝えてもらう。)
- ・授業中にペットボトルの飲み物を自分勝手に飲まない。(学校のルールに注意)
- ・学校で指導することを意識した服装・髪型で活動する。(ジーンズ等要注意)
- ・上履きの忘れ物が多いので注意する。(スリッパでの指導は危険)

<教育実習で欠席する際の確認>

後期に「教育実習」を行う人は、次の3点を確認し、必要な対応を行ってください。

- ①活動校の担当の先生(SAT担当の先生・配属学級の担任の先生)に、教育実習期間を伝えること。
その際に、SAT活動へ復帰する日も確認して伝えておくこと。
- ②タクシー利用校の人は、教職支援センターへ欠席する期間を伝えること。
また、同乗する仲間にも欠席期間を伝えておくこと。
- ③校内授業や教職講座等を欠席する際は、本部棟2階の教務課教職担当より「欠席理由報告書(教育実習)」をもらい、必要事項を記入して提出すること。
*教職講座は、教職担当へ
*授業は、授業担当の先生へ
尚、事前提出が出来なかった場合は、事後1週間以内に提出をすること。

※「介護等体験」への参加の場合も、同様の対応をしてください。



SAT活動の困りごとがあった場合
教職支援センター1(6401)へ
直通携帯 080-9569-0675